

施策評価シート（評価対象年度：令和6年度）

基本政策	4	生活基盤
主要施策名	17	自然環境
5年後の まちの姿	<p>○市民の多くが自然と共生し、自然の恩恵を受けて生活しています。</p> <p>○美しく豊かな山・川・海が多くの人をひきつけています。</p>	
施策展開の 基本的な考え方	<p>行政は、まちの貴重な財産である豊かな自然を次世代に引き継ぐために、自然環境の保全と再生を進めるとともに、市民が自然と触れ合う機会や自然公園等の維持管理に参加する機会を提供します。また、市外の人からも胎内市の魅力を感じてもらえるようPRに努めます。</p> <p>市民等は、身近な自然の魅力や自然保護の重要性を認識し、自然との触れ合いや維持管理を行う機会には積極的に参加するよう努めます。</p>	
実現に向けた 取組	<p>①豊かな自然環境の保全と再生</p> <p>②自然と共生するまちづくり</p> <p>③市民・事業者・行政の協働による環境保全</p>	
施策担当課	農林水産課	
施策関係課・係	地域整備課 管理係、都市計画建築係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	72,147	84,682	272,714		
事務事業数	8	8	8		
うち、事務事業評価対象	8	8	8		

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
森林病虫害被害本数	本	650	1,489	38,811	25,199			300
植栽および森林の保育活動面積〔累計〕	ha	22.15	22.40	23.16	24.00			25.0
成果指標による 現状分析	<p>森林病虫害被害本数については、松くい虫が飛び立つ前に実施する薬剤による航空防除区域の拡大や、市の単独事業として対象区域を拡大し、被害木の伐倒駆除くん蒸を実施しているにも関わらず、令和5年度に引き続き令和6年度においても夏の高湿少雨が主な要因で植栽し年月が経過していない樹齢が若い松林にも森林病虫害（松くい虫）の被害が発生し、海岸保安林全域で猛威を振るった。</p> <p>植栽及び森林の保育活動面積〔累計〕については、集落、団体、企業の協力により植栽や保育活動を実施している企業の森活動は順調に推移している。</p>							

### 3 施策の進捗状況

達成度	× 遅れている
評価の理由	◇集落、団体、企業の協力により植栽や保育活動を実施している企業の森活動は順調に推移している。 しかし、森林病虫害被害が猛威を振るい、被害本数が基準値の39倍、最終目標の84倍であることから遅れていると評価をした。なお、令和6年度補正予算及び令和7年度当初予算にて全数駆除できるよう要求を行った。

### 4 取組の状況と今後の方向性

#### ① 豊かな自然環境の保全と再生

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携して、自然公園区域や自然環境保全地域、保安林等の自然環境の適切な管理を推進し、貴重な動植物とその生息・生育環境の保全等を図ります。</li> <li>白砂青松の景観の保全と再生に向けて、県や市民団体、企業と連携して防除活動や植林、下草刈り等、海岸部の適切な維持管理に取り組みます。</li> <li>森林環境譲与税を用いて、よりよい森林環境を実現していきます。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<p>◇保安林周辺の海岸浸食を防ぎ前砂丘としての働きをする防潮工を県で実施</p> <p>胎内平尼池のビオトープの保全を実施</p> <p>松くい虫被害の根絶を目指すため、松くい虫防除、駆除を継続して実施</p> <p>林業振興及び森林保全等を図るため、間伐等の実施に対し林業事業者へ補助</p> <p>◇集落、団体、企業の協力により植栽や保育活動を行う企業の森活動等を実施</p> <p>保安林内の松林の成長を促すため間伐を実施</p> <p>保安林を保護するため海岸浸食を防ぎ前砂丘としての働きをする防潮工工事を県で実施</p> <p>国及び県へ白砂青松や治山林道事業の推進と林業振興に関する要望書を提出</p> <p>◇森林整備推進のため、森林経営計画の作成支援及び認定</p> <p>森林管理の責務を明確化する森林経営管理制度に伴う意向調査を実施</p> <p>松くい虫被害の根絶を目指すため、松くい虫防除、駆除を継続して実施</p> <p>適切に森林を管理するために行う間伐や作業道開設を行う林業事業者へ補助</p>
主な課題と今後の対応
<p>◇森林が成長するまでは時間を要するため、適切な管理、保全に努める。</p> <p>令和5年度に松くい虫の被害が海岸保安林やその周辺で爆発的に広がり、駆除に対して多くの時間や経費が必要となっている。</p> <p>被害を受けた松林については、補助金を活用するなどし、早急に駆除を実施する必要がある。</p> <p>◇集落、団体、企業と連携し、保安林内の植栽や保育活動等を実施する。</p> <p>各事業が円滑に遅滞なく進捗するよう引き続き国及び県へ要望を行う。</p> <p>◇令和6年度から課税が開始された森林環境税については、森林整備及びその促進に関する費用に活用できる目的税であることから、目的に沿った事業を実施し効果的な森林保全を目指す。</p>

#### ② 自然と共生するまちづくり

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>国や県、その他の関係機関と連携して、自然公園区域や自然環境保全地域等に自然学習や観光にも資する散策路や観察小屋、ベンチ、トイレ等の環境整備に取り組みます。</li> <li>自然体験施設や環境学習施設、周辺の公園の維持管理と魅力の向上を図ります。</li> <li>河川整備の実施に併せて水辺のジョギングコースや憩いの親水空間等の自然と触れ合う場の設置を検討します。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携して山林や河川、海岸の適切な維持管理や保全施設等の整備を実施し、自然の荒廃を要因とする災害時の被害拡大を抑制します。</li> </ul>
<p>これまでの主な取組と実績</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇県の施設である青少年の森研修館の管理運営を県から受託</li> <li>◇胎内平周辺の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>夏井河川公園の維持管理</li> <li>荒井浜森林公園等生活環境保全林の維持管理</li> <li>村松浜夕日の森公園、笹口浜臨海休養広場の維持管理</li> <li>長池憩いの森公園では憩いの場となるよう草刈り等公園整備・池整備を実施。</li> </ul> </li> <li>◇既に胎内川兩岸に赤川霞堤公園、八幡霞堤公園が整備済み</li> <li>◇河川環境整備の一環として、県から堤防等の除草作業を受託 <ul style="list-style-type: none"> <li>白砂青松海岸促進期成同盟会を通じて、国、県に海岸浸食の防止対策等を要望</li> <li>災害時の被害拡大抑制のため、県に河川の維持管理を要望</li> </ul> </li> </ul>
<p>主な課題と今後の対応</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各施設とも老朽化が進み修繕等多くの経費が見込まれることから、今後の対応について検討が必要となる。</li> <li>◇各施設の草刈りや清掃などの維持管理については、関係集落等への委託や会計年度任用職員による管理を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>長池憩いの森公園に通年眺望を楽しめる展望施設の整備を検討する。</li> </ul> </li> <li>◇赤川霞堤公園などのPRを行い利用者の増加を図る。</li> <li>◇除草の要望が多く作業延長も伸びていることから、業者への発注のほか、今後も継続して自治会や農家組合等に除草作業を委託することについて協力を要請していく。</li> </ul>

③ 市民・事業者・行政の協働による環境保全

<p>施策の内容</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民やボランティア団体、企業と連携した緑化や自然保護活動に取り組みます。</li> <li>・市民による公園の環境整備や魅力づくり、環境教育・環境学習での活用を積極的に支援します。</li> <li>・豊かな自然を題材にした環境教育・環境学習を通じて、環境問題に関する情報発信と意識の啓発を図ります。</li> </ul>
<p>これまでの主な取組と実績</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ボランティアやボランティア団体による植栽活動の実施（フラワーパーク、白鳥公園） <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の森活動の実施（4企業）</li> </ul> </li> <li>◇集落、団体、企業の協力により植栽や保育活動を行う企業の森活動等を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>集落による森林・山村多面的活動の実施</li> </ul> </li> <li>◇胎内平を星まつり会場として使用 <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと体験学習の場所として胎内平周辺や奥胎内を使用</li> </ul> </li> </ul>
<p>主な課題と今後の対応</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇継続的なボランティアの受入が課題となっている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>協定に基づき企業の森活動を継続して実施することができるよう、活動場所の提供等関係機関と連携し調整を行う。</li> </ul> </li> <li>◇各施設とも老朽化が進み修繕等多くの経費が見込まれることから、今後の対応について検討が必要となる。</li> </ul>

5 施策の今後の方針

施策方針	◎拡充
<p>施策方針に関する説明</p>	<p>◇令和5年度の猛暑の影響等から森林病虫害（松くい虫）被害が猛威を振るい、令和6年度の被害本数が基準値の39倍、最終目標の84倍と大きく上回っているため、被害木の調査を行い、守るべき松林（高度公益機能森林及び地区保全林）に対する被害木の全数駆除を県へ要望していくほか、守るべき松林以外の被害木の駆除についても被害拡大防止を図るため範囲を拡大し、緊急的な対策を講じていく。</p> <p>山林の管理については、森林経営管理制度に基づき森林整備の方向性について意向調査を実施し、結果を踏まえ適正な森林の管理、保全を進めていく。</p>

## II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R6 事業費	R7 当初予算額	達成度	今後の 方向性	担当課
410110	森林保全管理事業	5,770	4,826	◎	③	農林水産課
410111	森林病虫害等防除事業	213,105	111,123	×	③	農林水産課
410112	海岸松原再生事業	12,896	17,571	◎	③	農林水産課
410210	長池憩いの森公園管理事業	5,618	5,413	△	③	農林水産課
410212	青少年の森研修館運営事業	2,778	3,408	◎	③	農林水産課
410213	笹口浜臨海休養広場管理運営事業	852	2,190	◎	③	農林水産課
410220	河川総務事業	29,862	57,421	◎	③	地域整備課
410310	造林事業	1,834	3,000	△	③	農林水産課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	410110		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者		
事務事業名	森林保全管理事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤		事業コード	大	41	自然環境		
主要施策	17	自然環境	中		01	豊かな自然環境の保全と再生			
			小		10	森林保全管理事業			
予算科目	款	06		農林水産業費		項目	02		林業費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意						
関連例規				関連計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	散策などのレクリエーション利用を通じて、市民の身近な遊び場、憩いの場となっている荒井浜森林公園、村松浜夕日の森公園の管理と環境美化に努める。
主な実施内容	・荒井浜森林公園及び村松浜夕日の森公園の維持管理
実施方法	委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

[Blank area for evaluation reasons]					
-------------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	2,912	5,574	5,770	4,826	
単位コスト	算出方法 (総事業費÷人件費) / 利用者数 ※令和6年度は人件費を含まない				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	497円	727円	599円		

3 指標値の状況

産出指標	名称	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園
	目標	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha
	実績	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha		
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	3,300人	9,000人	9,000人	9,000人	9,000人
	実績	9,320人	9,420人	9,640人		
	目標比	282.4%	104.7%	107.1%		

6 事業の課題

[Blank area for business challenges]					
--------------------------------------	--	--	--	--	--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					
[Blank area for future measures]					

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
----------------------------------------------------------	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
コスト投入の方向性	削減	×	×	×	×
	縮小	×	×	×	×
	維持	×	×	×	×
	拡大	×	×	×	×

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	410111		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者	
事務事業名	森林病害虫等防除事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計
基本政策	4	生活基盤		事業コード	大	41	自然環境	
主要施策	17	自然環境			中	01	豊かな自然環境の保全と再生	
					小	11	森林病害虫等防除事業	
事務区分	法定受託事務		自治事務	根拠法令	森林病害虫等防除法			
	法令による義務付け		任意		胎内市森林整備計画			
関連例規				関連計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	松くい虫被害の終息化を図るため、航空散布や地上散布等の予防散布と伐倒駆除等の被害木の除去を実施する。
主な実施内容	・薬剤散布、伐倒駆除
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×	×	×		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、周辺農家から同意を得られず駆除できなかった区域や、農地に隣接しており予防散布が困難な区域からの被害拡大が考えられる。

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	22,103	27,958	213,105	111,123	
単位コスト	算出方法 薬剤散布による防除面積1ha当たりのコスト 薬剤散布防除委託料/薬剤散布面積				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	82,664円	84,704円	94,888円		

3 指標値の状況

産出指標	名称	薬剤散布面積	薬剤散布面積	薬剤散布面積	薬剤散布面積	薬剤散布面積
	目標	140ha	140ha	285ha	285ha	285ha
	実績	137.5ha	137.5ha	187ha		
成果指標	名称	被害本数	被害本数	被害本数	被害本数	被害本数
	目標	200本	200本	15,000本	7,500本	3,750本
	実績	1,489本	38,811本	25,046本		
	目標比	△544.5%	△19,205.5%	33%		

6 事業の課題

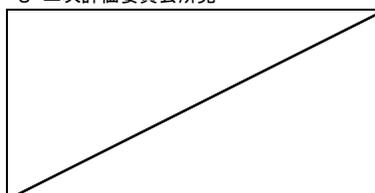
海岸保安林等の「守るべき松林」への松くい虫被害拡大を防ぐため令和5年度以降「守るべき松林」周辺の松についても伐倒駆除を実施しており、コストが増大している。植樹区域での伐倒駆除について、県の積算基準だけでは実際に必要な労務費を反映しきれていない可能性がある。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①	①	③		

課題解決に向けた今後の取組  
「守るべき松林」の厳選及び被害予防について、新たな試みとして植樹転換の実施を視野に県とともに検討を進める。植樹区域での伐倒駆除について、より実態を反映した設計内容となるよう県と現地を確認しながら検討を進める。

8 二次評価委員会所見



		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	410112		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者			
事務事業名	海岸松原再生事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06	農林水産業費
主要施策	17	自然環境		中	01	豊かな自然環境の保全と再生		項	02	林業費
				小	12	海岸松原再生事業		目	01	林業総務費
事務区分	法定受託事務 法令による義務付け		自治事務	○		根拠法令				
関連例規				関連計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	美しい海岸松原を再生していくため、環境整備を進める。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松くい虫被害木調査</li> <li>・枯損木処理</li> <li>・松林等の下草刈り</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	12,014	11,752	12,896	17,571	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

産出指標	名称	被害木調査面積	被害木調査面積	被害木調査面積	被害木調査面積	被害木調査面積
	目標	300ha	500ha	500ha	500ha	500ha
	実績	518ha	550ha	583.9ha		
成果指標	名称	海岸林整備面積	海岸林整備面積	海岸林整備面積	海岸林整備面積	海岸林整備面積
	目標	10ha	6ha	6ha	6ha	6ha
	実績	10ha	6.7ha	6.65ha		
	目標比	100.0%	111.7%	110.8%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	410210		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者		
事務事業名	長池憩いの森公園管理事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤		事業コード	41	自然環境		予算科目 款項 目	
主要施策	17	自然環境			02	自然と共生するまちづくり			06 農林水産業費
					10	長池憩いの森公園管理事業			01 農業費 05 農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務	〇	根拠法令				
	法令による義務付け		任意						
関連例規	胎内市長池憩いの森公園条例、胎内市長池農産物直売所条例			関連計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	豊かな森林資源に囲まれた長池憩いの森公園の管理を行い、市民のレクリエーション活用ややすらぎの場として提供する。
主な実施内容	・長池憩いの森公園の維持管理
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	○	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、チューリップフェスティバル期間中以外の施設の利用が少なかったことが挙げられる。

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	4,762	9,333	5,618	5,413	
単位コスト	算出方法 (総事業費+人件費)÷利用者数				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	95円/人	166円/人	128円/人		

3 指標値の状況

産出指標	名称	農産物直売所開館日数	農産物直売所開館日数	農産物直売所利用日数	農産物直売所利用日数	農産物直売所利用日数
	目標	317日	317日	20日	20日	20日
	実績	289日	235日	22日		
成果指標	名称	年間公園施設利用者数	年間公園施設利用者数	年間公園施設利用者数	年間公園施設利用者数	年間公園施設利用者数
	目標	80,000人	70,000人	60,000人	60,000人	60,000人
	実績	54,894人	59,066人	43,800人		
	目標比	69%	84.4%	73%		

6 事業の課題

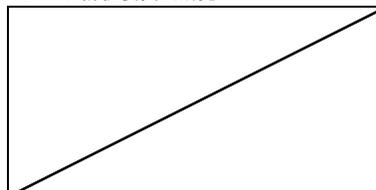
新潟食料農業大学の学生の実学の場として使用しているが、直売につながる取組が少ない状況にある。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①	③	③		

課題解決に向けた今後の取組  
学生が定期的な利用をしていることから、販売につながるような取組が行えるよう進めていく。

8 二次評価委員会所見



		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	⑥	
	縮小	×	⑥	⑦	⑧	
	休廃止	⑦	⑧	⑨	⑩	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	410212		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者		
事務事業名	青少年の森研修館運営事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06 農林水産業費
主要施策	17	自然環境		中	02	自然と共生するまちづくり		項	02 林業費
				小	12	青少年の森研修館運営事業		目	01 林業総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意						
関連例規				関連計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	次代を担う青少年が自然の中で野外活動に親しみ、心身の鍛錬と森林愛護思想の普及啓発として研修の場を提供する。
主な実施内容	・青少年の森研修館及び周辺施設の維持管理運営
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	2,475	3,625	2,778	3,408	
単位コスト	算出方法 利用者1人当たりコスト 総事業費÷人件費÷年間周辺施設利用者数 ※令和6年度は人件費を含まない				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	81円	39円	31円		

3 指標値の状況

産出指標	名称	研修館管理日数	研修館管理日数	研修館管理日数	研修館管理日数	研修館管理日数
	目標	157日	157日	166日	164日	162日
	実績	163日	165日	166日		
成果指標	名称	年間周辺施設利用者数	年間周辺施設利用者数	年間周辺施設利用者数	年間周辺施設利用者数	年間周辺施設利用者数
	目標	50,000人	70,000人	70,000人	70,000人	70,000人
	実績	57,700人	98,840人	89,974人		
	目標比	115%	141.2%	128.5%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	410213		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者		
事務事業名	笹口浜臨海休養広場管理運営事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	06	農林水産業費
主要施策	17	自然環境		中	02	自然と共生するまちづくり		03	水産業費
				小	13	笹口浜臨海休養広場管理運営事業		01	水産業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○		根拠法令		
	法令による義務付け		任意				関連計画		
関連例規				関連計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	笹口浜地内の沿岸に設置している臨海休養広場を管理し、白砂青松の観察や地元漁師、観光客等の休養の場として提供する。
主な実施内容	・笹口浜臨海休養広場及びトイレの維持管理
実施方法	市が直接実施+委託+補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
/					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	862	822	852	2,190	
単位コスト	算出方法 利用者1人あたり運営コスト (総事業費+人件費)/利用者数				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	159円	135円	89円		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	清掃回数	清掃回数	清掃回数	清掃回数
	目標	84回	84回	84回	84回
	実績	86回	88回	87回	
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	990人	9,000人	9,000人	9,000人
	実績	9,320人	9,420人	9,620人	
	目標比	941.4%	104.6%	106.8%	

6 事業の課題

高波により護岸崩落の進行や広場内のフェンスの老朽化が進んでおり、安全管理を行うため、消波ブロックの上積みや、フェンスの補修について必要となってきている。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組  
令和7年度に広場内に設置しているベンチ等及びフェンスの一部の改修を計画、その後継続的にフェンスの改修を行う。また護岸についても危険度を確認し必要に応じ補修の検討を行う。

8 二次評価委員会所見

/					
---	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	410220		担当課	地域整備課	担当係	管理係	担当者		
事務事業名	河川総務事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤		事業コード	大	41	自然環境	08	土木費
主要施策	17	自然環境	中		02	自然と共生するまちづくり	03	河川費	
			小		20	河川総務事業	01	河川総務費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	〇	根拠法令	河川法			
関連例規	法令による義務付け			義務	関連計画	荒川水系荒川圏域河川整備計画、胎内川水系河川整備計画、落掘川水系河川整備計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	新潟県からの河川環境整備を受託し、堤防等の除草作業を行うほか、河道掘削や伐採等を行い流下能力を高め災害防止を図る。
主な実施内容	・堤防等の除草作業 ・河川の改修工事
実施方法	委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	26,279	22,914	29,862	57,421	
単位コスト	算出方法				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度

3 指標値の状況

産出指標	名称	受託面積	受託面積	受託面積	受託面積	受託面積
	目標	357,150㎡	357,150㎡	357,150㎡	357,150㎡	357,150㎡
	実績	357,150㎡	358,830㎡	358,830㎡		
成果指標	名称	受託実施率	受託実施率	受託実施率	受託実施率	受託実施率
	目標	100%	100%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績	100%	100%	100%		
	目標比	100%	100%	100%		

6 事業の課題

事業の課題					

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	410310		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者		
事務事業名	造林事業		事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	06	農林水産業費
主要施策	17	自然環境		中	03	市民・事業者・行政の協働による環境保全		02	林業費
				小	10	造林事業		02	林業振興費
事務区分	法定受託事務	自治事務	〇	根拠法令	森林法				
	法令による義務付け			任意	森林経営計画				
関連例規			関連計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地球温暖化防止や森林の公益的機能の維持・増進を図っていくため、森林を造成し植栽、除間伐等森林整備を推進する。
主な実施内容	・間伐等森林整備 ・造林補助金交付
実施方法	委託+補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

成果指標が達成できなかった理由は、林業事業者による間伐実施面積が前年比で減少したことが挙げられる。

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	1,489	2,704	1,834	3,000	
単位コスト	算出方法 間伐実施面積当たりの経費 （（総事業費+人件費）/間伐実施面積）				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	178,328円	226,070円	124,847円		

3 指標値の状況

産出指標	名称	間伐等委託面積（市有林）	間伐等委託面積（市有林）	市有林間伐等委託面積	市有林間伐等委託面積	市有林間伐等委託面積
	目標	1.0ha	1.0ha	1.0ha	1.0ha	1.0ha
	実績	0ha	1.03ha	1.58ha		
成果指標	名称	市内実施面積（間伐実施面積）	市内実施面積（間伐実施面積）	市内実施面積	市内実施面積	市内実施面積
	目標	16.0ha	18ha	20ha	22ha	22ha
	実績	16.75ha	17.76ha	14.69ha		
	目標比	104.7%	98.67%	73.4%		

6 事業の課題

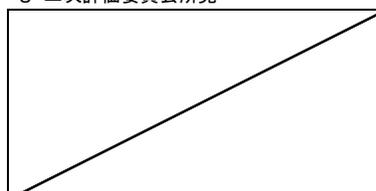
森林経営管理制度による森林整備の実施に当たり、市に委託を希望する森林について既存の森林経営計画との調整、収益が見込めるものとするでないものの区別及び整備箇所の集積方法等の課題がある。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①	①	③		

課題解決に向けた今後の取組  
先進自治体や県、農林公社のアドバイザーなどから意見をいただき、具体策の検討を行っていく。

8 二次評価委員会所見



		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				